

令和4年3月15日（火曜日）

経済観光委員会

本会議場

出席委員

井上太良、中西祥子、山崎陽介、竹尾浩司、
阿山正人、井川一善、三和 衛、森由紀子、
三木和成、金内義和

【予算決算委員会経済観光分科会（農業委員会事務局）の審査】

再開 9時59分

農業委員会事務局 9時59分

質問

質問なし

農業委員会事務局終了 10時00分

観光スポーツ局 10時00分

前回の委員長報告に対する回答

・姫路市香寺温水プールの指定管理者に周辺の小中学校における水泳の授業時の利用について提案を行うことから、教育委員会と連携し、市内のスイミングスクール等において授業時のプールの活用を検討されたいことについて

以前より、教育委員会において、公営・民営のプールを利用できないか検討がなされており、今回の要望を受け、再度教育委員会と協議したところ、授業時の公営・民営のプール利用について取り組んでいきたいとのことであった。については、指定管理者や民間事業者と連携を図り、実施に向けて教育委員会と協議を進めていきたい。

・手柄山スポーツ施設整備における市内業者の活用について契約相手方にしっかり確認するとともに、産業局と連携し、本市産木材等の活用についても検討されたいことについて

事業者の選定の際に、事業者に対し、地域経済への貢献に関する提案の中で、市内企業への発注等を求めている。今後、当該事項に関して、履行内容を確実に把握するとともに、地域経済への貢献をしっかりと確認していきたい。

あわせて、産業局と連携し、本市産木材等を活用で

きるか検討していきたい。

報告事項説明

・観光スポーツ局における令和5年度の指定管理者制度導入予定施設について

・手柄山中央公園再整備事業の進捗について

・手柄山中央公園内施設のイベント（4～6月）について

・「姫路市観光戦略プラン（案）」に対する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

・「姫路市国際化推進プラン（案）」に対する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

・「特別史跡姫路城跡保存活用計画（案）」に対する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

・観光事業（3～6月）について

質問 10時38分

（質問）

手柄山中央公園再整備事業のうち、東エントランスゾーン整備について、令和4年4月から進入禁止となると聞いているが、手柄小学校の給食室の改修工事が同年7月から開始予定である。そのため、事業者が工事用車両を当該広場に駐車させてほしいと要望していると聞いているが、観光スポーツ局は把握しているのか。

（答弁）

令和4年3月末をもってスポーツ広場公園を廃止し、4月から当該広場の整備工事の事業者の選定を行う予定であるため、東エントランスゾーンの広場を駐車場として利用することはできないと回答している。

（要望）

事業者が決まり、工事を計画している間でもよい。学校のグラウンドに車両を停めると、児童が遊ぶスペースがなくなってしまうため、当該広場に駐車できないか検討してもらいたい。

（質問）

東エントランスゾーン整備に当たり、周辺道路をゾーン30にするなど、建設局との連携については検討しているのか。

（答弁）

直接建設局から話があったわけではないが、今後連携していきたいと考えている。

（要望）

周辺道路は、日曜日、休日を除き、午前7時30分～8時30分は歩行者専用道路であり、また国もゾーン30プラスの整備を推進している。今後、公園が整備されることにより多くの自動車が通ることが予想されることから、子どもたちの安全を踏まえた整備を実施してもらいたい。

(質問)

姫路市観光戦略プラン(案)において、日本遺産に関する記載はあるのか。

(答弁)

周辺市町やテーマに沿った連携による観光の推進という項目の中に、日本遺産との連携についても記載している。

(質問)

それぞれの日本遺産の具体的な名称を記載すると分かりやすいと思うがどうか。

(答弁)

同項目の中で、構成文化財の中に本市の文化財が含まれる、銀の馬車道鉦石の道、西国三十三所及び北前船について記載している。

(要望)

姫路城だけでなく、周辺の日本遺産も含めた観光プランを考えてもらいたい。

(質問)

令和5年度から指定管理者制度を導入する予定である4施設は、これまで直営で運営してきたものであるが、利用状況について説明してもらいたい。

また、直営から指定管理に移行するに当たり、期待する効果は何か。

(答弁)

当該施設は家島町の合併前から直営で運営してきたものであるが、近年はイベントを実施するたびに民間事業者に相談し、開催を委託していた。そのため、指定管理者制度を導入し、イベント開催のノウハウを有した事業者が管理することにより、イベントや企画が実施しやすくなることを期待している。

家島B&G海洋センターは、新型コロナウイルス感染症の影響により若干利用人数が減少しているが、延べ1万5,000～6,000人程度が利用している。家島運動広場は約1万人、坊勢スポーツセンターは約2万3,000人、坊勢運動広場は約1,000人が利用している。

島の人口が減少しつつある中、施設利用者数は一定の数を保っていると認識している。

(要望)

施設の維持管理の観点も含めて、指定管理者制度導入の効果が出るよう取り組んでもらいたい。

(質問)

姫路市観光戦略プラン(案)について、パブリック・コメントを踏まえて、町家等についてソフト事業を中心に支援を検討するよう修正を行っているが、姫路城周辺の町家について具体的にどのような支援を行っていくのか説明してもらいたい。

(答弁)

市内には野里のほか、網干などに町家が残っており、すばらしい観光資源であるため、ソフト面、特にPRの支援に重点的に取り組んでいるほか、町家のマップがない地域は、マップを作成している。

野里周辺は既に整備されているため、今後もPRの観点で支援していきたい。

(要望)

引き続き、力を入れて取り組んでもらいたい。

(質問)

特別史跡姫路城跡保存活用計画(案)において、パブリック・コメントを踏まえ、石垣及び土塁については草木の計画的な剪定・除去など適切な維持管理を行うよう修正を加えているが、今後の計画や方向性について説明してもらいたい。

(答弁)

石垣については特別史跡姫路城跡石垣修理計画を策定しており、計画に基づいて順次保存修理を行っている。

土塁は姫路城の本質的な価値を構成する要素ではあるが、保存修理まで手が及んでいない状況である。崩れかけている箇所については適切に対応しているが、今後計画的に補修できるよう検討、調査を行わなければならないと考えている。

(要望)

土塁の補修についてしっかり取り組むとともに、石垣についても計画どおり保存修理を実施してもらいたい。

(質問)

第37回姫路城観桜会については、規模を縮小し、

飲食や物販の提供を行わないとのことである。チラシでも飲食の提供がないことや、会場周辺での飲酒を伴う宴会の自粛について周知しているが、会場周辺は広いので、自粛の徹底ができるのか不安である。どのように周知しようと考えているのか。

(答弁)

チラシに会場案内図を記載しており、従来は会場内で飲食物を提供しているが、このたびは飲食物の提供はせず、県のガイドラインに基づき、間隔を空けて観覧してもらうこととしている。

会場周辺は公園であり、飲食をする人もいると思われるため、自粛についてはしっかり啓発を行いたいと考えている。

当該イベント会場内への飲食物の持込みは禁止し、手指消毒や会場内の人数管理をしっかりと実施した上で運営したい。

(要望)

自粛の啓発が中途半端なものにならないか不安であるため、観桜会を開催するに当たり、ふさわしい環境をつくるとともに、新型コロナウイルス感染拡大を防止するためにも、引き続き自粛について周知を行ってもらいたい。

(質問)

手柄山スポーツ施設整備に関して、新体育館に多動性障害、感覚過敏等に配慮したセンサリールームを設置していることは非常に画期的ですばらしいが、センサリールームへの案内はどのように考えているのか。

また、センサリールームがあることを周知する方法を考えてもらいたいでしょうか。

(答弁)

令和8年10月に開業予定であるが、令和7年度から開業準備にかかる予定である。その際には、利用団体やパラスポーツに取り組む障害者のスポーツ団体にも周知する予定である。加えて、市民や関係団体にも開業までに十分周知を図りたい。

また、来館時は必ず2階のエントランスを通るため、センサリールームの受付、案内もそこで行うこととしている。また、案内に際してもコンシェルジュ等を配置し、利用者の状況に応じて対応していきたいと考えている。

(質問)

書写山ロープウェイ山麓駅のトイレについて、利用者から暗いとの相談がよく寄せられる。改善してもらいたいでしょうか。

(答弁)

確認の上、暗ければ対応したい。

(質問)

令和5年度に指定管理者制度を導入予定の施設について、民間事業者が類似施設を運営しているとのことであるが、どのような施設、業種を想定しているのか。

(答弁)

事前にサウンディング調査を行っており、市内のプールやテニスコートなどを管理している事業者などが指定管理について前向きに検討しているものと考えている。

(要望)

離島で様々なスポーツができる点を考えると、青少年の健全な育成という観点では利用価値が高い施設である。夏休みの子どもの合宿や大会誘致など魅力的な使い方ができると考えるため、今後指定管理者を公募する際には、市としても施設の価値をしっかりと認識した上で取り組んでももらいたい。

(質問)

姫路市観光戦略プラン(案)については、パブリック・コメントが11通45件あり、そのうち約半分の22件の意見を基にプラン案を修正しているが、案を策定した市としてはどのように考えているのか。

(答弁)

観光について市民の関心が高いため11通45件もの意見が寄せられており、ありがたいと考えている。意見の内容については、しっかりプラン案を読み込んだ上で寄せられたものも多く、案を策定した担当課もできるだけ意見を取り入れたものである。

本市が行ったパブリック・コメントの中では意見提出件数が多いほうであると認識している。

(要望)

市が当初策定したプラン案の内容が不十分だったのではないかと疑念を抱きかねない。パブリック・コメントの件数が多いことはよいことであるが、今後は、市民意見を募集する前に、市内部でしっかりと内容を精査の上、案を策定してもらいたい。

(質問)

家島B&G海洋センターに関して、上郡町にも同様の施設があるが、比較して説明してもらいたい。

(答弁)

本市の近隣では上郡町のほか市川町、全国では480の市町村にB&Gの施設がある。家島B&G海洋センターは全国的に見ても大規模な施設であり、兵庫県の中でも大規模な施設である。

島民が利用するだけでなく、夏季には大学生のスポーツ部の合宿などにも利用されており、利用人数も多いと考えている。

(質問)

他都市では類似施設の管理運営を委託しているケースが多いのか。

(答弁)

全国の施設について把握しているわけではないが、小規模な自治体であれば直営の施設が多いように認識している。

本市としては、委託事業者のノウハウを活用し、全国から合宿に来てもらうといった展開にもつなげやすいと考えるため、指定管理者制度を導入したいと考えている。

(質問)

手柄山中央公園再整備事業について、各施設の大まかな事業費について説明してもらいたい。

(答弁)

全体の建設事業費として約250億円、運営事業費で約80億円と認識しているが、まだ各施設の事業費の検討まで至っていない。

(質問)

いつ頃分かるのか。

(答弁)

現在概要設計を進めており、令和4年度以降、詳細設計を行う。令和5年度の半ばぐらいである程度の事業費が分かるものと考えている。

(質問)

パブリック・コメントの募集についてはどのように市民に周知しているのか。

(答弁)

パブリック・コメントの募集について記者発表を行うほか、広報ひめじにも掲載している。また、各支所

や公民館などで関連資料を閲覧できるようにしている。

(質問)

パブリック・コメントの募集期間が1か月というのは短いと思う。また、市民が全員公民館等に行くというものではないため、姫路市が計画を策定し、市民の意見を求めているということをもう少し広く市民が知ることができるような方法を取るべきではないか。

姫路市観光戦略プラン(案)については11通45件という意見数であるため、一部の人の意見が偏って寄せられているように感じるがどうか。

(答弁)

1年間で計画を策定する場合、懇話会などを4、5回程度開催の上、当該年度末に策定することになる。その場合、スケジュール的にはどうしてもパブリック・コメントを年末年始にせざるを得ない。そのため、できるだけ募集期間を長く取り、広報ひめじやホームページ、SNSなど様々な媒体で市民に周知するよう努めているところである。このたびのパブリック・コメントは多くの市民に関心を持ってもらえたと考えている。

姫路市観光戦略プランは5年ごとに改定するが、新たに出てくる広報媒体を利用しながら広く周知に努めていきたい。

(質問)

計画案を策定する段階で、市が市民の声を積極的に聞き取る仕組みはないのか。

(答弁)

現在、市民参画の方法としては、任意に設置する懇話会等において、公募市民や旅行会社、旅館業、放送関係など各種団体の代表者から意見を得ることにより計画等を策定している。

計画策定段階から、パブリック・インボルブメント形式で策定を進めていく方法もあるが、今後の課題として研究していきたい。

(要望)

懇話会のメンバーはある程度選定された人々であるが、ほかの市民も様々な意見を持っていると思う。そういった声をできるだけ集約できるような方法を考えてもらいたい。

(質問)

市民から、先日アクリエひめじでのコンサートに行ったが、コンサートが終わって駐車場から出る際に非常に時間がかかったとの苦情が寄せられた。

できるだけ公共交通機関を利用してもらいたいという市の狙いも理解するが、播磨地域は公共交通インフラが阪神地域のように充実しているわけではないため、特に周辺市町からは自動車で来場する人も多い。また、夜間に開催するイベントも自動車での来場が多くなる。

さらに、災害時の安全も考慮すると、駐車場の出口が2か所しかないことは危険だと考えるがどうか。

(答弁)

駐車場については多くの意見が寄せられており、市としても課題として認識している。

アクリエひめじの駐車場の位置については警察との協議の上で決定しており、形状や出口については兵庫県の大規模集客施設の立地に係る都市機能の調和に関する条例に基づく審査及び指摘を受けて、現在に至るものであるが、それらは周辺地域の交通への影響を主眼に置いたものであるため、現実には混雑している箇所への対応は本市が取り組まなければならない。それゆえ、駐車場の出口を別に設けることは難しい。

先日のイベントに際しては、事前精算を呼びかけたものの高齢者にとっては利用が難しかったり、退場時にゲートが反応しないことがあったため係員が対応しており、市としても状況を確認している。そのため、係員の配置や精算の仕方など取り得る対策について検討しているところである。

(要望)

経験を積みながら、利用者も運営側も少しずつ改善していってもらいたい。

今回は、事前精算してから退場するまでに2時間かかったため、退場時にさらに精算が必要だったケースもあったし、私自身も年末のコンサートの際は退場に1時間かかった。立派な施設で、市民の期待も大きいゆえに、悪い評判が広まっていくともったいない。誘導する係員の配置など、イベント主催者と施設管理者でしっかり検討し、スムーズに自動車が退場できるよう取り組んでもらいたい。

観光スポーツ局終了

11時19分

【経済観光分科会（観光スポーツ局）の審査】

意見取りまとめ

12時24分

(1) 付託議案審査について

・議案第17号及び議案第38号、以上2件については、いずれも全会一致で可決すべきものと決定。

(2) 付託請願審査について

・請願第17号については賛成少数で不採択とすべきものと決定。

(3) 閉会中継続調査について

・別紙のとおり、閉会中も継続調査すべきものと決定。

(4) 委員長報告について

・正副委員長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

12時36分

閉会

12時36分

【予算決算委員会経済観光分科会の意見取りまとめ】